

「ちくしのタイムカプセル」の手紙の内容を紹介します

市制施行40周年を記念して行った「ちくしのタイムカプセル」。市制施行50周年となる、10年後の未来の自分や家族に宛てて、自分の夢や家族への思いなどを書いた手紙を募集し、タイムカプセルに入れて保存しました。

令和4年10月にタイムカプセルに入っていた手紙をお送りし、あわせてタイムカプセルの内容やエピソードについてお聞きしましたので、紹介します。



虎口 美代子さん

→ 夫(幸生さん)、娘、息子

手紙をもらえてうれしく、良い思い出になりました。

「来世も一緒になりたい」という内容が書かれてあり、私も同じ思いだよ、と伝えました。



虎口 幸生さん 虎口 美代子さん

家族写真や亡くなった愛犬の写真も同封されており、懐かしい気持ちになったと同時に10年前を思い出しました。

娘や息子にはLINEを通して手紙を見せたのですが、「10年前に書いた願いが全てかなっているね」と話をしました。



原 芙美子さん

原 芙美子さん → 10年後の自分

自分自身が「10年後も元気でいられるように」という思いで手紙を書きました。受け取ることができてうれしい思いでいっぱいです。

当時は主人が亡くなった直後だったのですが、きちんと最期を看取ることができたこと、そして多くの人との出会いに恵まれ、支えられたという思いを書いていました。

またこれからも頑張っていこうという思いになりました。

娘 → 両親(春本 留松さん、みどりさん)

10年後の両親へのメッセージとして、娘からタイムカプセルを受け取りました。

産んでくれたこと、育ててくれたことなどへの感謝の気持ちと幸せだという思いが書いてあり、思いのこもったたくさんのありがとうがつつられていました。

私たちは金婚式を迎えたので、最高の祝言となりました。



春本 留松さん 春本 みどりさん

タイムカプセルで保存していた手紙のうち、住所不明などで送付できなかったものがあります。これらの手紙は保管していますので、心当たりのある人はご連絡ください。

手紙の保管は、令和6年3月31日までです。

問 総務課



これまで、これからも、このまちと。

筑紫野市は昭和47(1972)年に市制を施行し、令和4年4月1日をもって市制施行50周年を迎えました。

令和4年度は、記念式典や特別記念事業など、さまざまな催しを予定しています。

問 企画政策課 企画政策担当